

33

午後の部

試験問題	試験時間
100~200	13時45分~16時20分

● 指示があるまで開かないこと。

<注意事項>

1. 問題の数

試験問題は100~200まで101問である。

2. 受験地、受験番号、氏名の記入方法

注意事項を読み終わったら、まず受験地、受験番号、氏名を文字と数字で記入する。次に答案用紙右側の受験地、受験番号の該当する○をマークする(塗りつぶす)。なお、記入にあたっては次の例を参考のこと。

(例) 受験地・東京都、受験番号・00027、氏名・栄養花子の場合

午後

受験地	東京都	受験番号	0:0:0:2:7
氏名	栄養花子		

受験地	北海道	宮城県	東京都	愛知県	大阪府	岡山県	福岡県	沖縄県			
	○	○	●	○	○	○	○	○			
受験番号	万	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	千	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	百	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	拾	○	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
壹	○	①	②	③	④	⑤	⑥	●	⑧	⑨	

### 3. 解答方法

解答方法は次のとおりである。

- (1) (例1)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例1)の質問には2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例1)

201 管理栄養士の名称を用いて業務を開始できると定められている日である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 合格発表日
- (2) 合格証書受領日
- (3) 管理栄養士免許申請日
- (4) 管理栄養士名簿登録日
- (5) 免許証受領日

正解は「(4)」であるから答案用紙の問題番号201の④をマークすればよい。

201	①	②	③	④	⑤
201	①	②	③	●	⑤

- (2) (例2)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを2つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例2)の質問には1つ又は3つ以上マークした場合は誤りとする。

(例2)

202 管理栄養士名簿の登録事項に変更が生じた場合、訂正が必要なものである。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 氏名
- (2) 住所地
- (3) 本籍地都道府県名(日本の国籍を有しない者については、その国籍)
- (4) 勤務地
- (5) 出身校の所在地

正解は「(1)」「(3)」であるから答案用紙の問題番号 202 の①、③をマークすればよい。

202	①	②	③	④	⑤
202	●	②	●	④	⑤

- (3) (例3)の問題では(1)から(4)までの4つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えとして最も適切なものを1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例3)の質問には2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例3)

**203** 管理栄養士に求められる専門職としてのあり方に関する記述である。**最も適切なものはどれか。**1つ選べ。

- (1) 自らの幸福を追求する。
- (2) 人々の生活の質の向上を目指す。
- (3) 特定の関係者との協働を重視する。
- (4) 免許取得時の知識を維持する。

正解は「(2)」であるから答案用紙の問題番号 203 の②をマークすればよい。


203	①	②	③	④
203	①	●	③	④

#### 4. その他の注意事項

- (1) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し濃くマークすること、○の外にはみ出さないように注意すること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例……  (解答にならない。)

- (2) 答えを修正した場合は必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにはならないので注意すること。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモ等で汚したりしないよう特に注意すること。

100 運動部に所属する高校生で、行動変容ステージが無関心期(前熟考期)の者に対し、栄養サポートを行うことになった。トランスセオレティカルモデルに基づいた支援内容である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食事内容の改善が競技力向上に及ぼすメリットを考えさせる。
- (2) コンディションが悪くて負けた時の悔しさを想像させる。
- (3) 食事内容の改善に取り組むことをチーム内で宣言させる。
- (4) 練習量が多い日はあらかじめ補食を用意させる。
- (5) 食事内容の改善に家族の協力が得られるかを考えさせる。

101 1人で外出が困難な高齢者への、ソーシャルサポートの内容とその種類の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) バランスのよい弁当の配食を依頼する。 ————— 情動的サポート
- (2) 家族が心配して毎日電話をかける。 ————— 評価的サポート
- (3) NPO が地域の食事会に車で送迎をする。 ————— 道具的サポート
- (4) 車椅子で買物がしやすい食料品店の場所を伝える。 ——— 情動的サポート
- (5) 現在の食事内容の具体的な課題を伝える。 ————— 情動的サポート

102 経済的な困窮のために、「子どもに十分な食事を食べさせてあげられない」と悲嘆している親への栄養カウンセリングにおける、共感的理解を示す記述である。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 「子どもに十分に食べさせてあげられないことが辛いのですね」と返す。
- (2) 経済的に困窮している理由を尋ね、「それはお気の毒ですね」と伝える。
- (3) 子どもの食事記録から、不足の可能性のある栄養素について説明する。
- (4) 地域で開催されている、子ども食堂の場所と参加方法を紹介する。
- (5) 親が言葉を詰まらせた時に、うなずきながら「ゆっくりで良いですよ」と言う。

103 栄養カウンセリング中の肥満症患者の発言である。行動変容への動機づけの高まりを示す発言として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 最近、また体重が増えてしまったんですね。
- (2) 水を飲んでも太る体質なんですよ。
- (3) 太る原因は、ストレスが多いからでしょうかね。
- (4) やはり、甘いものを控えた方が体重は減りますよね。

104 医師から禁酒を指示された肝臓病の患者である。「1週間は禁酒しましたが、寝つきが悪く感じ再び飲むようになってしまいました」と話す。行動変容技法のうち、認知再構成を意図した管理栄養士の支援である。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 「1週間も禁酒できたのですね」と褒める。
- (2) 「お酒の買い置きをやめてみては」と提案する。
- (3) 飲まなくても眠れた日があったことを、思い出させる。
- (4) 再度、家族に禁酒宣言することを、勧める。
- (5) 「飲酒の記録を次の相談日に持参してください」と指示する。

105 減量中の中年女性への栄養教育である。間食を減らすことへの自己効力感を高める支援である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 間食でよく食べる食品の、エネルギー量について説明する。
- (2) 間食の頻度と量を記録してもらい、間食を減らせた日を確認し合う。
- (3) 間食を食べ過ぎてしまった状況を思い起こしてもらい、対処方法を一緒に考える。
- (4) 間食で食べたくなる食品は、買い置きしないよう提案する。

106 2型糖尿病の女性である。「菓子をもらったり、食事に誘われたりすることが多く、つい食べ過ぎてしまう」と話す。

ソーシャルスキルトレーニングとして、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) お腹が空いたら、菓子の代わりに何を食べれば良いかを一緒に考える。
- (2) 職場で配られた菓子を、その場で食べずに済む方法を一緒に考える。
- (3) メールで食事に誘われた時の、断りの文章を一緒に考える。
- (4) 菓子を減らした時の、メリットとデメリットを一緒に考える。
- (5) イライラした時に、菓子を食べる以外の対処方法を一緒に考える。

107 栄養教育を受けた学習者が、学んだことを生かして組織づくりへと展開した事例である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) パパママ教室を受講した父親が、イクメン向けの情報を SNS で発信した。
- (2) 離乳食教室を受講した母親が、育児中の友人と学んだ情報を共有した。
- (3) 食物アレルギー教室を受講した保護者らが、修了者のメーリングリストに登録した。
- (4) PTA 対象の環境学習を受講した保護者らが、給食の生ごみで作った堆肥で学校菜園の運営を開始した。
- (5) 炎症性腸疾患の患者会に参加した家族が、会のホームページで体験談を公表した。

108 大学における食環境づくりに関する記述である。食物へのアクセスの整備として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 大学内の学生掲示板に、食事バランスガイドのポスターを貼る。
- (2) 大学ホームページに、食堂のメニューとその栄養成分値を掲載する。
- (3) 食堂のモニターに、朝食用の簡単レシピを紹介する動画を流す。
- (4) 食堂のメニューに地場野菜使用と表示し、その野菜を食堂で販売する。
- (5) 大学の SNS に、学生が考案したバランスランチメニューを配信する。

109 栄養教育前に実施するアセスメントの項目例とその調査方法の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 腹囲 ————— 臨床検査
- (2) 1日のエネルギー消費量 —— 文献調査
- (3) 栄養成分表示の活用状況 —— 食事調査
- (4) 栄養情報の入手可能性 —— 質問紙調査
- (5) 健康観 ————— 観察法

110 ラウンドテーブルディスカッションにおいて、管理栄養士がファシリテーターとして初回の進行を務めることになった。初対面の参加者同士の交流を意図した発言である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 私が皆さんのお名前を順に読み上げます。
- (2) 名札を胸に貼って、お互いに名前が見えるようにしましょう。
- (3) お一人ずつ、順番に自己紹介をお願いします。
- (4) 隣の人から話を聞いて、その方を紹介する他者紹介をしましょう。

111 保健センターで、第1子の養育者を対象に、地域ぐるみで子どもの健全な発育と発達を目的とした離乳食教室を実施した。その評価の内容と評価の種類組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 離乳食の開始の目安がわかった参加者の割合 —— 結果評価
- (2) 乳児期に避けたい食材がわかった参加者の割合 —— 経過評価
- (3) 離乳食への不安を抱いている地域内の養育者数 —— 総括的評価
- (4) 順調な発育をしている児の割合 ————— 形成的評価
- (5) 教室の後、参加者同士で出かけた者の数 —— 影響評価

112 低栄養傾向の高齢者に、月1回、計6回コースの低栄養予防教室を実施した。教室の総費用は12万円であった。教室終了後の目標BMIの達成者は、30名中20名であった。目標達成のための教室の費用効果である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 667円
- (2) 2,000円
- (3) 4,000円
- (4) 6,000円
- (5) 20,000円

113 保育所での食育推進計画の策定にあたり、園児の保護者に対し、プリシード・プロセスモデルに基づいたアセスメントを実施した。アセスメント内容とその項目の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 幼児の体格 ————— 準備要因
- (2) 幼児食について相談できる人の有無 ——— 強化要因
- (3) 保護者の調理の知識 ————— 実現要因
- (4) 保護者の共食に対する考え ————— 行動と生活習慣
- (5) 保護者の持つボディイメージ ————— 健康

114 特別支援学校高等部の、料理を作ることが可能な生徒を対象に、調理実習を伴う栄養教育を実施する。対象者と安全に調理するための配慮の組合せである。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 視覚障害者 ——— 包丁を使う作業をさせない。
- (2) 聴覚障害者 ——— 後ろから声をかけない。
- (3) 肢体不自由者 ——— 車椅子で作業できる調理台を使う。
- (4) 病弱者 ————— 食事制限の有無を確認する。
- (5) 知的障害者 ——— 次の作業を促す言葉かけを行う。

115 臨床栄養の用語とその内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ターミナルケア ————— 障害者と健常者の共存
- (2) クリニカルパス ————— 医療の標準化
- (3) アドヒアランス ————— 痛みを抑える治療
- (4) インフォームド・コンセント ——— 重症度の判定
- (5) ノーマリゼーション ————— 情報開示に対する患者の権利

116 診療報酬における栄養食事指導料の算定に関する記述である。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 外来患者は、初回 20 分の栄養食事指導で算定できる。
- (2) 小児食物アレルギー患者の外来栄養食事指導料は、9 歳未満の場合に算定できる。
- (3) 入院栄養食事指導料は、入院期間中に 3 回算定できる。
- (4) 集団栄養食事指導料は、外来患者と入院患者が混在した場合も算定できる。
- (5) 集団栄養食事指導料の算定は、1 回の対象者数の上限が 20 人である。

117 25% ブドウ糖基本輸液 1,200 mL(1,200 kcal)、総合アミノ酸製剤 600 mL(400 kcal、窒素量 9 g)、20% 脂肪乳剤 100 mL(200 kcal)を投与した。この時の NPC/N(非たんぱく質カロリー窒素比)である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 44
- (2) 67
- (3) 133
- (4) 156
- (5) 200

118 経腸栄養剤の種類とその特徴に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 成分栄養剤の糖質は、マルトースである。
- (2) 成分栄養剤の窒素源は、ジペプチドである。
- (3) 消化態栄養剤の糖質は、キシリトールである。
- (4) 消化態栄養剤の窒素源は、たんぱく質である。
- (5) 半消化態栄養剤の糖質は、デキストリンである。

119 栄養素とその欠乏の評価に用いる臨床検査項目の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質 —— 尿中ケトン体
- (2) ビタミン B<sub>1</sub> —— プロトロンビン時間
- (3) ビタミン C —— 尿中ビリルビン
- (4) カルシウム —— 血清トリグリセリド
- (5) 鉄 —— 血清フェリチン

120 医薬品の薬理効果に及ぼす食品の影響に関する記述である。□に入る正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

□ a □ であるカルシウム拮抗薬の薬理効果は、□ b □ を摂取することにより □ c □ する。

- |     | a    | b            | c  |
|-----|------|--------------|----|
| (1) | 抗凝固薬 | 納豆           | 増強 |
| (2) | 抗凝固薬 | グレープフルーツジュース | 減弱 |
| (3) | 降圧薬  | 納豆           | 増強 |
| (4) | 降圧薬  | グレープフルーツジュース | 減弱 |
| (5) | 降圧薬  | グレープフルーツジュース | 増強 |

121 医薬品とその作用の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アンジオテンシン II 受容体拮抗薬 —— 尿中ナトリウム排泄抑制
- (2) アンジオテンシン変換酵素阻害薬 —— 尿中カリウム排泄抑制
- (3) 抗アルドステロン薬 —— 尿中ナトリウム排泄抑制
- (4) ループ利尿薬 —— 尿中カリウム排泄抑制
- (5) サイアザイド系利尿薬 —— 尿中ナトリウム排泄抑制

122 78歳、女性。BMI 17.5 kg/m<sup>2</sup>。大腿骨頸部骨折にて入院。入院前から、歩いて買い物に出かけるのが大変だったと訴えており、朝食はバナナ1本、昼食・夕食は配食サービス1食分を2回に分けて食べていた。エネルギー摂取量不足であった。1日の目標エネルギー量は、1,400 kcalである。

SOAP とその内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) S —— BMI 17.5 kg/m<sup>2</sup>
- (2) O —— 目標エネルギー量は、1,400 kcal/日
- (3) A —— 朝食は、バナナ1本
- (4) A —— エネルギー摂取量不足
- (5) P —— 歩いて買い物に出かけるのが大変

123 クワシオルコルにみられる特徴の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- | 浮腫     | 血清総たんぱく質値 | 肝腫大 |
|--------|-----------|-----|
| (1) あり | 正常        | あり  |
| (2) あり | 低下        | なし  |
| (3) あり | 低下        | あり  |
| (4) なし | 正常        | あり  |
| (5) なし | 低下        | なし  |

124 45歳、男性。事務職。身長170 cm、体重75 kg、BMI 26.0 kg/m<sup>2</sup>、腹部CT測定により内臓脂肪面積110 cm<sup>2</sup>であった。血圧125/80 mmHg。空腹時血液検査値は、血糖100 mg/dL、トリグリセリド140 mg/dL。その他、特別な健康障害はみられない。この患者の病態と栄養管理に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 肥満症である。
- (2) メタボリックシンドロームである。
- (3) 脂質異常症と診断される。
- (4) エネルギー摂取量は、35 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (5) 1か月に10%の減量を目標とする。

125 55歳、男性。身長170 cm、体重65 kg、BMI 22.5 kg/m<sup>2</sup>、普通の労作。血糖コントロール不良により強化インスリン療法(毎食前超速効型インスリンと就寝前持続型インスリンを注射)が導入された2型糖尿病患者の栄養管理に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー摂取量は、30～35 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (2) 炭水化物エネルギー比率は、50～60%Eとする。
- (3) 食事はインスリン注射後、直ちに摂取する。
- (4) 低血糖発作時には、ブドウ糖を摂取する。
- (5) シックデイ時には、水分の摂取量を制限する。

126 脂質異常症の栄養管理に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 高カイロミクロン血症では、脂質のエネルギー比率を20～30%Eとする。
- (2) 高LDL-コレステロール血症では、飽和脂肪酸の摂取を控える。
- (3) 低HDL-コレステロール血症では、トランス脂肪酸の摂取を控える。
- (4) 高トリグリセリド血症では、アルコール摂取量を25 g/日以下とする。
- (5) 高トリグリセリド血症では、果糖を含む加工食品の摂取を減らす。

127 腸疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 潰瘍性大腸炎では、白血球数の低下がみられる。
- (2) クロウン病では、チャイルド分類で重症度を評価する。
- (3) イレウスでは、経腸栄養法を選択する。
- (4) たんぱく漏出性胃腸症では、高たんぱく質食とする。
- (5) 過敏性腸症候群では、抗 TNF- $\alpha$  抗体製剤が用いられる。

128 非代償性肝硬変で上昇する項目である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血清総コレステロール値
- (2) 血中アンモニア値
- (3) フィッシャー比
- (4) 血漿膠質浸透圧
- (5) 早朝空腹時の呼吸商

129 消化器疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脂肪肝では、肝細胞内にコレステロールが過剰に蓄積する。
- (2) 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)では、インスリン抵抗性が増大する。
- (3) 急性胆嚢炎では、血清 CRP(C 反応性たんぱく質)値が低下する。
- (4) 急性膵炎急性期では、尿中アミラーゼ値が低下する。
- (5) 慢性膵炎非代償期では、グルカゴン分泌が亢進する。

130 合併症のない女性の高血圧症患者の栄養管理に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食塩 6 g/日未満とする。
- (2) 魚(魚油)の摂取を推奨する。
- (3) 飽和脂肪酸の摂取を控える。
- (4) カリウムの摂取を制限する。
- (5) エタノールは、10~20 mL/日以下とする。

131 微小変化型ネフローゼ症候群に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー摂取量は、20～25 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (2) たんぱく質摂取量は、1.5 g/kg 標準体重/日とする。
- (3) 浮腫がみられる時の水分摂取量は、前日尿量+500 mL とする。
- (4) LDL-コレステロール値は、低下する。
- (5) ステロイド薬の反応は、微小変化型以外のネフローゼ症候群に比べて悪い。

132 55歳、女性。身長160 cm、体重56 kg、BMI 21.8 kg/m<sup>2</sup>。血圧150/95 mmHg、推算糸球体濾過量(eGFR)93 mL/分/1.73 m<sup>2</sup>、尿たんぱく量0.5 g/日である。この患者の栄養管理として、食塩は5 g/日とした。1日当たりのエネルギー量とたんぱく質量の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- |     | エネルギー量<br>(kcal/日) | たんぱく質量<br>(g/日) |
|-----|--------------------|-----------------|
| (1) | 1,200              | 60              |
| (2) | 1,200              | 80              |
| (3) | 1,600              | 45              |
| (4) | 1,600              | 60              |
| (5) | 2,100              | 45              |

133 63歳、女性。身長155 cm、標準体重53 kg。週3回の血液透析療法を受けている。ドライウエイト49 kg。透析前血清カリウム値5.8 mEq/L。この患者の1日当たり目標栄養量の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

	エネルギー量 (kcal/kg 標準体重/日)	たんぱく質量 (g/kg 標準体重/日)	カリウム量 (mg/日)
(1)	25	1.2	制限なし
(2)	30	1.0	2,000 以下
(3)	30	1.5	1,500 以下
(4)	35	0.6	2,000 以下
(5)	35	1.0	制限なし

134 バセドウ病に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 基礎代謝量が低下する。
- (2) 腸管蠕動運動が減弱する。
- (3) 血清甲状腺刺激ホルモン(TSH)値が上昇する。
- (4) 血清遊離トリヨードサイロニン(FT<sub>3</sub>)値が上昇する。
- (5) 血清総コレステロール値が上昇する。

135 進行した慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の栄養アセスメントの結果である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体重の増加
- (2) 安静時エネルギー消費量の増加
- (3) %1秒量の上昇
- (4) 動脈血酸素分圧(PaO<sub>2</sub>)の上昇
- (5) 血清トランスサイレチン値の上昇

136 新生児の頭蓋内出血を予防するために補給する栄養素である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミン A
- (2) ビタミン K
- (3) ビタミン B<sub>1</sub>
- (4) ビタミン B<sub>12</sub>
- (5) ビタミン C

137 23歳、女性。身長 150 cm、体重 34 kg(標準体重 50 kg)、BMI 15.0 kg/m<sup>2</sup>。2週間以上、ほとんど摂食できていない神経性やせ症の患者である。緊急入院させ、静脈栄養管理となった。輸液開始時に投与する1日当たりのエネルギー量である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 500 kcal/日
- (2) 1,000 kcal/日
- (3) 1,500 kcal/日
- (4) 2,000 kcal/日

138 骨粗鬆症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 骨吸収は、閉経後に低下する。
- (2) 骨型アルカリホスファターゼは、骨吸収マーカーである。
- (3) 低カルシウム血症となる。
- (4) 食塩摂取過剰は、リスク因子である。
- (5) 治療には、ステロイド薬が用いられる。

139 消化器手術とその合併症の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食道切除 —— 脂肪吸収障害
- (2) 胃全摘 —— 巨赤芽球性貧血
- (3) 胆嚢摘出 —— 低血糖
- (4) 脾臓切除 —— 嚥下障害
- (5) 直腸切除 —— ダンピング症候群

140 重症嚥下障害患者の直接訓練に用いる嚥下訓練食品である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) お茶をゼリー状に固めたもの
- (2) 牛乳にとろみをつけたもの
- (3) ヨーグルト
- (4) りんごをすりおろしたもの

141 メープルシロップ尿症の栄養管理に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギーの摂取量を制限する。
- (2) 分枝アミノ酸の摂取量を制限する。
- (3) シスチンの補充を行う。
- (4) 食事療法の評価は、血中チロシン値を用いる。
- (5) 食事療法は、成人期には不要となる。

142 褥瘡に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 大転子部は、好発部位である。
- (2) 貧血は、内的因子である。
- (3) 十分なたんぱく質の摂取量が必要である。
- (4) 亜鉛の摂取量を制限する。
- (5) 30度側臥位は、予防となる。

143 地域における公衆栄養活動の進め方に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) PDCA サイクルに基づいた活動を推進する。
- (2) 住民のニーズを把握するため、自治会を活用する。
- (3) 活動を効果的に推進するため、関係機関と連携する。
- (4) 住民の参加は、事業評価段階から行う。
- (5) 行政栄養士は、コーディネータとして活動する。

144 最近の国民健康・栄養調査結果からみた、成人の栄養素等および食品群別の摂取状況に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 鉄の摂取量は、50歳以上より49歳以下が多い。
- (2) 食物繊維の摂取量は、50歳以上より49歳以下が多い。
- (3) 脂肪エネルギー比率が30%E以上の者の割合は、女性より男性で高い。
- (4) 果実類の摂取量は、男性より女性が多い。
- (5) 乳類の摂取量は、女性より男性が多い。

145 最近の国民健康・栄養調査結果からみた、成人の食塩摂取量に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 過去10年間では、減少している。
- (2) 男性の摂取量は、10g未満である。
- (3) 女性が男性より多い。
- (4) 20～29歳が60～69歳より多い。
- (5) 都道府県の上位群と下位群では、3gの差がある。

146 食料問題に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食料安全保障では、経済的事由による入手可能性は考慮しない。
- (2) わが国の総合食料自給率(供給熱量ベース)は、50%前後で推移している。
- (3) 食料自給力とは、輸入される食料も含めた潜在的供給能力をいう。
- (4) 食品ロスは、賞味期限切れによって廃棄された食品を含む。
- (5) フードマイレージは、食料の輸送量に作業従事者数を乗じて算出される。

147 開発途上国における健康・栄養問題の現状に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 欠乏症が多く認められる栄養素に、ヨウ素がある。
- (2) 栄養不足人口は、増加傾向である。
- (3) 栄養不足人口が最も多いのは、アジア・太平洋地域である。
- (4) 5歳未満児の死亡率は、減少傾向である。
- (5) NCDは、増加傾向である。

148 わが国の行政組織における公衆栄養活動業務に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食品の安全性確保の推進は、内閣府が担っている。
- (2) 食育推進基本計画の策定は、農林水産省が担っている。
- (3) 特定保健用食品の表示許可業務は、厚生労働省が担っている。
- (4) 飲食店によるヘルシーメニューの提供の促進は、都道府県が行っている。
- (5) 疾病予防のための栄養指導は、市町村が行っている。

149 公衆栄養関連法規の内容と法規名の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 特定健康診査の実施 ————— 医療法
- (2) 食品表示基準の策定 ————— JAS 法
- (3) 食生活指針の策定 ————— 学校給食法
- (4) 低体重児の届出 ————— 母子保健法
- (5) 学校給食実施基準の策定 ——— 健康増進法

150 栄養士法に規定された管理栄養士に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 健康の保持増進のための栄養の指導を行う。
- (2) 免許は、内閣総理大臣が与える。
- (3) 就業届出制度が規定されている。
- (4) 特定給食施設への必置が規定されている。
- (5) 専門管理栄養士に関する規定がある。

151 国民健康・栄養調査に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調査は、3年ごとに実施される。
- (2) 国民健康・栄養調査員は、厚生労働大臣が任命する。
- (3) 栄養摂取状況調査は、非連続の2日間実施する。
- (4) 調査結果は、健康日本21(第二次)の評価に用いられる。
- (5) 海外に居住する日本人も対象となる。

152 食生活指針(2016年一部改定)に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 生活の質(QOL)の向上を目的としている。
- (2) 食品の組合せは、SV(サービング)を用いて示している。
- (3) 「脂肪は質と量を考えて」としている。
- (4) 「郷土の味の継承を」としている。
- (5) 「食料資源を大切に」としている。

153 健康増進法に定められている事項である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 市町村保健センターの設置
- (2) 市町村健康増進計画の策定
- (3) 市町村食育推進計画の策定
- (4) 特定保健指導の実施
- (5) 生活習慣病の発生状況の把握

154 国際的な公衆栄養活動に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 持続可能な開発目標(SDGs)は、国際連合(UN)が発表している。
- (2) 栄養表示ガイドラインは、国連世界食糧計画(WFP)が策定している。
- (3) フードセキュリティの達成は、国連教育科学文化機関(UNESCO)の設立目的である。
- (4) 自然災害被災地への緊急食料援助は、コーデックス委員会(CAC)が担っている。
- (5) フードバランスシートの策定基準は、世界保健機関(WHO)が定めている。

155 K市において、50歳代女性1,000人を対象とした個人の習慣的なカルシウム摂取量を把握するために、食事調査を行いたい。

この調査法として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食事記録法(秤量法)
- (2) 24時間食事思い出し法
- (3) 半定量式食物摂取頻度調査法
- (4) 陰膳法

156 集団を対象とした食事調査によって得られた栄養素摂取量のデータ解析に及ぼす影響と、その解決法に関する記述である。□に入る正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

食事調査によって得られた栄養素摂取量について、□ a の影響を取り除く方法の一つとして、栄養素摂取量を □ a で除し、単位当たりの栄養素摂取量を算出する方法がある。この方法を □ b という。また、データの解析段階では、交絡因子の影響を取り除くため、一般的に □ c が行われている。

- | a             | b         | c        |
|---------------|-----------|----------|
| (1) 総エネルギー摂取量 | —— 栄養素密度法 | —— マッチング |
| (2) 総エネルギー摂取量 | —— 栄養素密度法 | —— 層化    |
| (3) 総エネルギー摂取量 | —— 残差法    | —— マッチング |
| (4) 総たんぱく質摂取量 | —— 残差法    | —— 層化    |
| (5) 総たんぱく質摂取量 | —— 栄養素密度法 | —— マッチング |

157 日本人の食事摂取基準(2015年版)を用いた集団における食事摂取量の評価とその方法の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギーの過剰摂取の評価 —— 推定エネルギー必要量(EER)を超えて摂取している人の割合
- (2) エネルギーの摂取不足の評価 —— BMIの平均値と目標とするBMIの範囲の下限値との差
- (3) 栄養素の摂取不足の評価 —— 目安量(AI)を下回る人の割合
- (4) 栄養素の過剰摂取の評価 —— 推奨量(RDA)を上回る人の割合
- (5) 生活習慣病の予防を目的とし た評価 —— 目標量(DG)の範囲を逸脱する人の割合

158 保健・栄養関連統計に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食料需給表は、衛生行政報告例から作成される。
- (2) 食中毒の患者数は、食品安全委員会が取りまとめている。
- (3) 乳幼児身体発育曲線は、国民健康・栄養調査から作成される。
- (4) 学校給食実施率は、学校保健統計調査によって把握される。
- (5) 介護が必要となった原因は、国民生活基礎調査によって把握される。

159 公衆栄養マネジメントに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) マネジメントは、対象集団の特性に合わせて行う。
- (2) 課題解決型アプローチでは、目的設定は専門家主導で行う。
- (3) 計画策定時には、必要な社会資源を確認する。
- (4) 評価は、マネジメントサイクルの各段階について行う。
- (5) 目標で取り上げなかった項目は、評価の対象外である。

160 地域における生活習慣病に対するハイリスクアプローチである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) スーパーマーケットにおける減塩キャンペーンの実施
- (2) 広報紙による情報提供
- (3) 市民公開講座の開催
- (4) 特定保健指導における積極的支援
- (5) 公共施設におけるポスターの掲示

161 特定給食施設で提供される給食に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 利用者の生活習慣に配慮する。
- (2) 利用者の身体状況に配慮する。
- (3) 利用者の嗜好に配慮する。
- (4) 利用者の望ましい食習慣の形成を目指す。
- (5) 利用者は全地域住民を対象とする。

162 給食経営管理におけるサブシステムとその主な目的の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養・食事管理 —— 調理従事者の労働安全性を確保する。
- (2) 献立管理 —— 具体的な栄養量の基準を設定する。
- (3) 品質管理 —— 計画した食事・サービスを実現させる。
- (4) 安全・衛生管理 —— 生産のためのハードウェアの購入を計画する。
- (5) 施設・設備管理 —— 作業工程に沿った食事の生産を行う。

163 給食経営管理におけるサブシステムとその管理業務の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養・食事管理 —— 遊離残留塩素濃度検査
- (2) 食材料管理 —— 在庫量調査
- (3) 品質管理 —— 備品調査
- (4) 安全・衛生管理 —— 残菜調査
- (5) 施設・設備管理 —— 提供時の品温調査

164 特定給食施設とそこで働く管理栄養士の業務の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 学校給食センター —— 栄養改善加算に基づく栄養管理
- (2) 事業所 —— 栄養サポートチームへの参画
- (3) 病院 —— 栄養指導員としての給食施設の指導
- (4) 介護老人保健施設 —— 医学的な管理を必要とする利用者の栄養管理
- (5) 児童養護施設 —— 栄養食事指導料の算定

165 通所介護における栄養管理に関する介護報酬の加算である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養マネジメント加算
- (2) 経口移行加算
- (3) 経口維持加算
- (4) 療養食加算
- (5) 栄養改善加算

166 サイクルメニュー導入の利点に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 献立作成業務が軽減できる。
- (2) 食材料発注業務が簡素化できる。
- (3) 調理作業が標準化できる。
- (4) 棚卸し業務が省略できる。
- (5) 食数管理が効率化できる。

167 給食施設における経営資源とその課題の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 人的資源 —— 施設・設備の老朽化
- (2) 物的資源 —— 労務費の増大
- (3) 資金的資源 —— 利用者情報の不足
- (4) 情動的資源 —— 調理従事者の不足
- (5) 時間的資源 —— 労働生産性

168 給食の運營業務を委託している病院が、給食業務受託事業者の参加を求めて実施

すべき業務である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 献立表作成基準の作成
- (2) 食数の注文・管理
- (3) 食事箋の管理
- (4) 嗜好調査の企画・実施
- (5) 検食の実施・評価

169 介護老人保健施設における入所者のモニタリングに関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) BMI を生活習慣から把握する。
- (2) 摂食・嚥下機能を栄養管理報告書により把握する。
- (3) 嗜好を食札により把握する。
- (4) 食事摂取状況を喫食量により把握する。
- (5) 排便の情報を残菜率により把握する。

170 K 小学校に勤務する学校給食栄養管理者である。児童が林間学校に行くにあたり、宿泊施設の予定献立の確認を行う際に、事前に把握が必要な項目である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 地場産食品
- (2) 児童の食物アレルギーの有無
- (3) 児童の嗜好
- (4) 児童の給与エネルギー量

171 事業所給食の汁物の食塩濃度が設計品質と一致しなかった。この適合品質の低下要因である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 材料洗浄時の付着水
- (2) 加熱機器のレイアウト
- (3) 調味のタイミング
- (4) 調理員の熟練度
- (5) ウォーマーテーブルでの保温時間

172 給食の原価管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 原価は、生産・販売およびサービス提供のために要した費用である。
- (2) 損益計算書の売上原価には、間接経費が含まれる。
- (3) 損益分岐点比率が高いほど、収益が高い。
- (4) 減価償却費は、変動費に含まれる。
- (5) パートタイム労働者の賃金は、固定費に含まれる。

173 給食の食材管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 廃棄部のある食材料は、1人分の純使用量に予定食数を乗じて発注する。
- (2) 即日消費する生鮮食品の納品は、食品受払簿に記録する。
- (3) 冷凍食品の検収では、化学的検査法による鑑別を行う。
- (4) 在庫品の棚卸しは、不定期に行う。
- (5) 期末在庫金額は、期間の食材料費の算定資料となる。

174 給食のオペレーションシステムとそれに関連する事項の組合せである。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) レディフードシステム ————— クックサーブ
- (2) コンベンショナルシステム ———— クックフリーズ
- (3) セントラルキッチンシステム —— サテライトキッチン
- (4) セルフサービスシステム ————— トレイメイク
- (5) POS システム ————— マーケティング

175 給食における調理作業の人員配置のために必要な情報である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調理機器の処理能力
- (2) 作業ごとの標準時間
- (3) 料理ごとの調理時間
- (4) 調理従事者の能力
- (5) 購入食材料の履歴

176 大量調理における品質向上のための留意点に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) でんぷんの多い食品の煮物では、加熱時間を少量調理より短く設定する。
- (2) 揚げ物では、油への食品の1回投入量を、低下した油温の回復時間が短くなるよう設定する。
- (3) 汁物の最初の水量は、加熱中の蒸発率が少量調理より大きいことを考慮して決定する。
- (4) 和え物の調味では、供食までの時間が短くなるよう食材の全体量を分割する。
- (5) 炒め物の野菜の洗浄開始時刻は、洗浄後の水切り時間を確保し決定する。

177 大量調理施設における衛生管理に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 施設の衛生管理者を指名するのは、都道府県知事である。
- (2) 調理施設の点検表の結果は、6か月ごとに報告する。
- (3) 検便検査には、腸管出血性大腸菌を含めない。
- (4) 手指に化膿創がある調理従事者は、手袋を着用して調理作業に従事する。
- (5) 納入業者は、原材料の微生物検査結果を提出する。

178 学校における食物アレルギー事故の防止に関わる者と、その役割の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 教育長 ————— 校内の食物アレルギー対応委員会の組織化
- (2) 学校給食栄養管理者 —— 緊急措置方法の立案
- (3) 養護教諭 ————— 給食における作業手順の整理
- (4) 保護者 ————— 学校生活管理指導表の提出
- (5) 学級担任 ————— 原因となる食品を除去した献立の作成

179 給食の安全・衛生管理に配慮した施設・設備に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 窓は、十分な換気を行うために、開けておく。
- (2) 排水中の油分を除去するためには、グレーチングを設置する。
- (3) シンクの排水口は、排水が飛散しない構造のものとする。
- (4) 配膳室の床は、排水のために勾配を設ける。
- (5) 調理従事者専用トイレの手洗いは、厨房の手洗い設備と併用できる。

180 事業所給食の食堂に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食堂の床面積は、1人について1m<sup>2</sup>とする。
- (2) 食堂スペースは、提供方式を考慮して決める。
- (3) 利用者のすれ違いがある場合は、テーブル間の間隔を80cmとする。
- (4) 食堂内では、受動喫煙防止に配慮する。
- (5) サンプルケースの照度は、食堂より高いことを目安とする。

次の文を読み「181」、「182」に答えよ。

K 産科クリニックに勤務する管理栄養士である。医師の指示のもと、妊婦の栄養カウンセリングを担当している。

妊婦は、30歳、妊娠28週目、初産婦。フルタイムの仕事(座位中心)をしている。

身長160cm、体重49.0kg(妊娠前45.0kg)、血圧132/80mmHg、空腹時血液検査値は、ヘモグロビン11.6g/dL、血糖88mg/dL、LDL-コレステロール120mg/dL、HDL-コレステロール60mg/dL、トリグリセリド100mg/dL。喫煙習慣なし。飲酒習慣なし。

前日の1日の食事内容を聞き取った(表)。平日はほぼこれに近い食事をしているという。

表 1日の食事内容

朝食 (7時、家)	昼食 (12時半、職場)	間食 (16時、職場)	夕食 (20時、家)
トースト (8枚切1枚)	豚しゃぶの パスタサラダ (1人前)	ミルクティー (1杯)	ごはん (軽く1杯100g)
スライスチーズ (1枚)	野菜サラダ (1人前)	クッキー(2枚)	納豆(1パック)
ヨーグルト(1個)	飲むヨーグルト (1本)		ポテトコロッケ (1個)
りんご(100g)			ゆで卵入 野菜サラダ (1人前)
カフェオレ(1杯)			

※夕食のポテトコロッケとゆで卵入野菜サラダはスーパーマーケットの惣菜

181 聞き取った内容を基に、栄養カウンセリングで、取り上げるべき重要課題である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 主食の摂取量を増やすこと。
- (2) カルシウムの摂取量を増やすこと。
- (3) 果物の摂取量を増やすこと。
- (4) 野菜の摂取量を増やすこと。

182 妊婦は、自分の食生活について、特に課題はないと言う。栄養カウンセリングで、最初に行う内容である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 料理をすることのメリットとデメリットをあげてもらい、デメリットを減らすアドバイスをする。
- (2) 食事調査の結果を、妊産婦の食事バランスガイドに照らして説明し、どのように思ったか意見を聞く。
- (3) 夫に家事を手伝ってもらうなど、ソーシャルサポートの活用を話し合う。
- (4) 特にアドバイスはせず、困ったことがあれば、問い合わせてもらおうよう、連絡先を渡す。

次の文を読み「183」、「184」、「185」に答えよ。

K市の市立保育園に勤務する管理栄養士である。保育園に通う女児A子(9か月)の母親への栄養の指導を行っている。

母親から、A子が家庭で離乳食をあまり食べないので心配との相談を受けた。

A子は、身長72.5cm、体重8.7kg。精神・運動機能の発達は良好である。

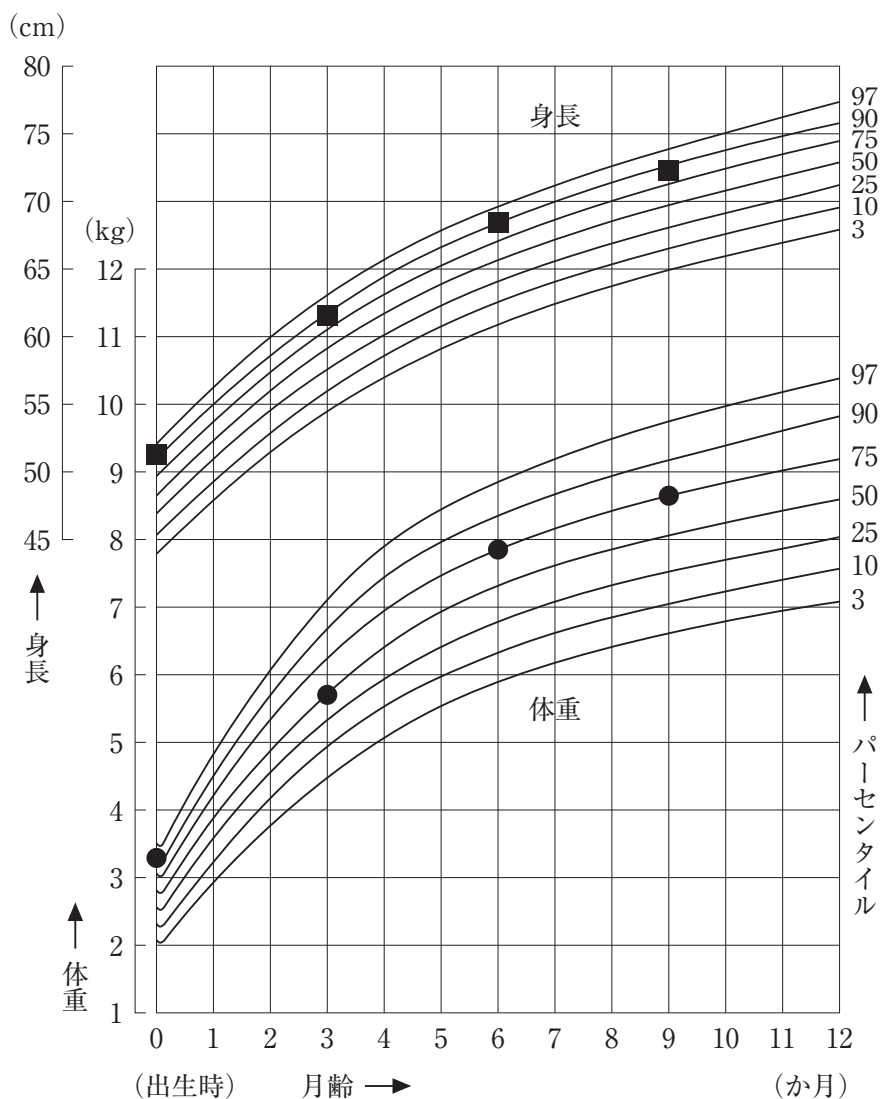


図 乳児身体発育曲線(女子)

183 A子の出生時からの身長と体重の変化を乳児身体発育曲線に示した(図)。A子の栄養アセスメントの結果である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体重は標準的な発育曲線であるが、低身長である。
- (2) 身長は標準的な発育曲線であるが、低体重である。
- (3) 身長、体重ともに離乳食開始後の発育不良が懸念される。
- (4) 身長、体重ともに標準的な成長状態である。

184 離乳食の与え方について、母親にたずねた。現在、離乳食は歯ぐきでつぶせる固さで1日3回与えており、母乳は欲しがる時に飲ませているという。この内容に対する栄養アセスメントである。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 月齢に応じた離乳食の与え方である。
- (2) 月齢に応じた離乳食の調理形態として、不適切である。
- (3) 月齢に応じた離乳食の回数として、多すぎる。
- (4) 母乳を与え過ぎている。

185 栄養アセスメントの結果を踏まえた管理栄養士の発言である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 月齢どおりの与え方ができていますね。あまり心配せず、見守ってあげましょう。
- (2) お子さんが食べやすい、ペースト状のおかずにしてはいかがですか。
- (3) 食べないことが心配であれば、離乳食を2回に減らしてみても、いかがですか。
- (4) お子さんに母乳をあげる回数を、決めましょう。

次の文を読み「186」、「187」に答えよ。

K 総合病院に勤務する管理栄養士である。緩和ケアチームによるラウンドを行っている。

患者は、73 歳、男性。昨年、膀胱がんに対して手術を行った。先月来院時に肺への転移が確認され、積極的治療を希望したため、再入院し、1 か月の抗がん剤治療を開始した。

再入院時の身長 165 cm、体重 60 kg、血圧 136/80 mmHg、空腹時血液検査値は、赤血球 410 万/ $\mu$ L、アルブミン 3.7 g/dL、尿素窒素 14 mg/dL、クレアチニン 1.1 mg/dL。

**186** 治療開始後より、嘔気が出現し、食欲が低下してきたため、これまでの一般食の食事内容を見直した。見直し後の食事内容の 1 例として、最も適切なのはどれか。

1 つ選べ。

- (1) ごはん、鮭のホイル焼き、肉じゃが、りんご
- (2) 全粥、かれいの煮魚、切り干し大根の煮物、りんごゼリー
- (3) ピザトースト、グラタン、コーンスープ、りんご
- (4) ざるそば、冷奴、小松菜のお浸し、りんごゼリー

187 治療開始1週間後に、さらに嘔気が強くなり、食事摂取量が必要栄養量の1/3以下となり、体重も1週間で3%以上減少した。この時点での栄養管理の方針である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 嗜好を重視して食事摂取量の増加を図る。
- (2) 経鼻胃管チューブによる経腸栄養法を開始する。
- (3) 胃瘻による経腸栄養法を開始する。
- (4) 中心静脈栄養法を開始する。

次の文を読み「188」、「189」、「190」に答えよ。

K 診療所に勤務する管理栄養士である。居宅療養管理指導を行っている。

患者は、75歳、女性。脳梗塞を発症し、左片麻痺を患いながら自宅療養している。意識ははっきりしており、嚥下障害は認めない。食事は買ってきてもらったレトルト粥、パン、牛乳などを自分で選んで食べているが、摂取エネルギー量が500 kcal/日と少ない。

身長 146 cm、体重 35 kg、空腹時血液検査値は、ヘマトクリット 33%、赤血球 380 万/ $\mu$ L、アルブミン 2.6 g/dL、血糖 96 mg/dL、トリグリセリド 80 mg/dL、尿素窒素 11 mg/dL、クレアチニン 0.6 mg/dL。

**188** 今後の栄養管理である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) このままの食事を継続し、モニタリングを続ける。
- (2) 主食をめしに変更して、1日の摂取エネルギー量を1,500 kcalとする。
- (3) 食事以外の水分摂取として、現状より500 mL増やす。
- (4) 間食として栄養補助食品(200 kcal、たんぱく質7 g)を追加する。

**189** 1週間後に再訪問したところ、体重が2 kg増加していた。考えられる理由として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 浮腫の増悪
- (2) 便秘
- (3) 脱水の改善
- (4) 体脂肪量の増加

190 再訪問後の栄養管理である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質摂取量を増やす。
- (2) 食物繊維摂取量を増やす。
- (3) 増加させた水分摂取量 500 mL を継続する。
- (4) 脂肪摂取量を減らす。

次の文を読み「191」、「192」に答えよ。

地域密着型介護老人福祉施設 K 荘に勤務する管理栄養士である。食事介助を担当している介護スタッフからの質問に対応している。

入所者は、76 歳、男性。1 年前より入所しており、CKD(慢性腎臓病)に対するケアを行ってきた。しかし、病態が悪化して、人工血液透析に移行した。

身長 169 cm、体重 58 kg、アルブミン値 3.6 g/dL、尿量ほとんど無し。

191 施設ではこれまで、透析中の入所者に対応したことがなかったため、介護スタッフから透析移行後の食事の留意点を質問された。

その回答として、最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 魚類と肉類の摂取量を少なくする。
- (2) 生野菜の摂取量を多くする。
- (3) 水分摂取を控える。
- (4) 間食を止める。

192 数日後、施設レクリエーションでバス旅行が決まった。その日の昼食はレストランで天ぷら定食を食べることが決まっており、介護スタッフより配慮すべき点を質問された。その回答として、最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) ごはんを半分量にする。
- (2) 魚介類の天ぷらを全量残す。
- (3) 野菜料理を追加する。
- (4) 汁物と漬物を控える。

次の文を読み「193」、「194」、「195」に答えよ。

K 事業所に勤務する管理栄養士である。来年度から始める体重管理プログラムを検討している。K 事業所の従業員は 1,000 人(男性：300 人、平均年齢 42 歳、女性：700 人、平均年齢 37 歳)であり、近年、高血圧と糖尿病の罹患者が増加している。表 1 は K 事業所の従業員の今年度の BMI の分布である。なお、K 事業所の来年度のプログラム実施の予算は 100 万円である。

表 1 K 事業所の今年度の男女別 BMI の分布

	全体(1,000 人)	男性(300 人)	女性(700 人)
やせ(18.5 kg/m <sup>2</sup> 未満)	155(15.5%)	15(5.0%)	140(20.0%)
普通(18.5~25.0 kg/m <sup>2</sup> 未満)	640(64.0%)	150(50.0%)	490(70.0%)
肥満(25.0 kg/m <sup>2</sup> 以上)	205(20.5%)	135(45.0%)	70(10.0%)

193 K 事業所が掲げる、来年度の健康づくりの結果目標である。

最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 男性の肥満(25.0 kg/m<sup>2</sup> 以上)の割合を減らす。
- (2) 女性のやせ(18.5 kg/m<sup>2</sup> 未満)の割合を減らす。
- (3) 男女とも肥満(25.0 kg/m<sup>2</sup> 以上)の割合を減らす。
- (4) 男女ともやせ(18.5 kg/m<sup>2</sup> 未満)の割合を減らす。

194 K 事業所と同系列の A 事業所と B 事業所が先行して体重管理プログラムを実施していた。A 事業所は集団学習の教室(プログラム総費用 20 万円)、B 事業所はアプリを活用したプログラム(プログラム総費用 100 万円)である。表 2-1 と表 2-2 は、それぞれの取組前後の BMI の分布である。K 事業所は、これら取組のいずれかを来年度実施することにした。どちらを選択するか<sup>1</sup>の理由である。

最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 実施後、参加者の肥満者は 0 人になっているため、A 事業所の取組の方がよい。
- (2) プログラム 1 回 20 万円のできるの、5 回実施できることから、A 事業所の取組の方がよい。
- (3) アプリを使った取組は、実施者側の負担が少ないため、B 事業所の取組の方がよい。
- (4) 取組の費用効果が良いため、B 事業所の取組の方がよい。

195 来年度に実施するプログラムを選択した K 事業所が、そのプログラムを実施する上で、優先すべき注意点である。最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 参加者を増やすようにする。
- (2) 男女の人数割合を同じようにする。
- (3) やせを増やさないようにする。
- (4) 費用をできるだけ安くするようにする。

表 2 - 1 体重管理教室実施前後の BMI の分布 (A 事業所)

	合計(30人)		男性(10人)		女性(20人)	
	事前	事後	事前	事後	事前	事後
やせ (18.5 kg/m <sup>2</sup> 未満)	2 (6.7%)	3 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.0%)	3 (15.0%)
普通 (18.5~25.0 kg/m <sup>2</sup> 未満)	15 (50.0%)	27 (90.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)	15 (75.0%)	17 (85.0%)
肥満 (25.0 kg/m <sup>2</sup> 以上)	13 (43.3%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (15.0%)	0 (0.0%)

A 事業所全体 1,000 人(男性 300 人、女性 700 人)、プログラム総費用 20 万円。

表 2 - 2 体重管理アプリ利用前後の BMI の分布 (B 事業所)

	合計(300人)		男性(100人)		女性(200人)	
	事前	事後	事前	事後	事前	事後
やせ (18.5 kg/m <sup>2</sup> 未満)	15 (5.0%)	20 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (7.5%)	20 (10.0%)
普通 (18.5~25.0 kg/m <sup>2</sup> 未満)	165 (55.0%)	260 (86.7%)	10 (10.0%)	90 (90.0%)	155 (77.5%)	170 (85.0%)
肥満 (25.0 kg/m <sup>2</sup> 以上)	120 (40.0%)	20 (6.7%)	90 (90.0%)	10 (10.0%)	30 (15.0%)	10 (5.0%)

B 事業所全体 1,000 人(男性 300 人、女性 700 人)、プログラム総費用 100 万円。

次の文を読み「196」、「197」、「198」に答えよ。

K 県の健康増進課の管理栄養士である。K 県の健康増進計画を検討している。K 県の健康課題は、脳血管疾患であり、死亡率は全国平均より高い。食生活の特徴では、野菜摂取量、果物摂取量(中央値)はそれぞれ 5 SV/日と 1 SV/日である。これまで、野菜摂取量の目標は 5 SV/日、果物摂取量の目標は 2 SV/日と設定してきている。また、食塩摂取量(平均値)は 11 g/日である。

196 食生活の目標を考えるうえで、脳血管疾患と野菜および果物摂取に関連する前向きコホート研究論文を参考にした。表は野菜および果物摂取による脳血管疾患罹患の相対危険の結果である。この結果の解釈である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜は、2 SV/日未満の摂取と比較し、2～5 SV/日の摂取で、相対危険が有意に低下する。
- (2) 野菜は、2 SV/日未満の摂取と比較し、5 SV/日超の摂取で、相対危険は低下するが、有意ではない。
- (3) 果物は、2 SV/日未満の摂取と比較し、2～5 SV/日の摂取で、相対危険が有意に低下する。
- (4) 果物は、2 SV/日未満の摂取と比較し、5 SV/日超の摂取で、相対危険は低下するが、有意ではない。
- (5) 野菜と果物ともに、2 SV/日未満の摂取で、相対危険が有意に低下する。

197 研究結果を参考に、K 県の現状を踏まえ、野菜と果物の摂取に関する地域住民への推奨内容を考えた。推奨内容として、最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 野菜は現状維持で、果物を増やす。
- (2) 野菜を増やし、果物は現状維持する。
- (3) 野菜、果物ともに増やす。
- (4) 野菜、果物ともに現状維持する。

198 野菜や果物の摂取に関する推奨を施策化する上で、考慮しなければならない事項である。最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 野菜の調理法
- (2) 食事中の野菜摂取のタイミング
- (3) 野菜の種類
- (4) 1 日の中での果物摂取のタイミング

表 野菜および果物摂取による脳血管疾患罹患の相対危険 (95% 信頼区間)

		食物摂取頻度調査による群分け		
		< 2 SV/日 <sup>†</sup>	2 ~ 5 SV/日	> 5 SV/日
野菜	相対危険		0.93	0.81
	(95% 信頼区間)	1.0	(0.82 - 1.06)	(0.72 - 0.90)
果物	相対危険		0.89	0.72
	(95% 信頼区間)	1.0	(0.82 - 0.98)	(0.66 - 0.79)

<sup>†</sup> 基準群

次の文を読み「199」、「200」に答えよ。

K 小学校に勤務する栄養教諭である。単独校方式で 600 食の給食を提供している。その日の献立は、パン、鮭のムニエル、ブロッコリーのサラダ、じゃがいもとキャベツのスープ、牛乳である。図は、食品の動線図である。

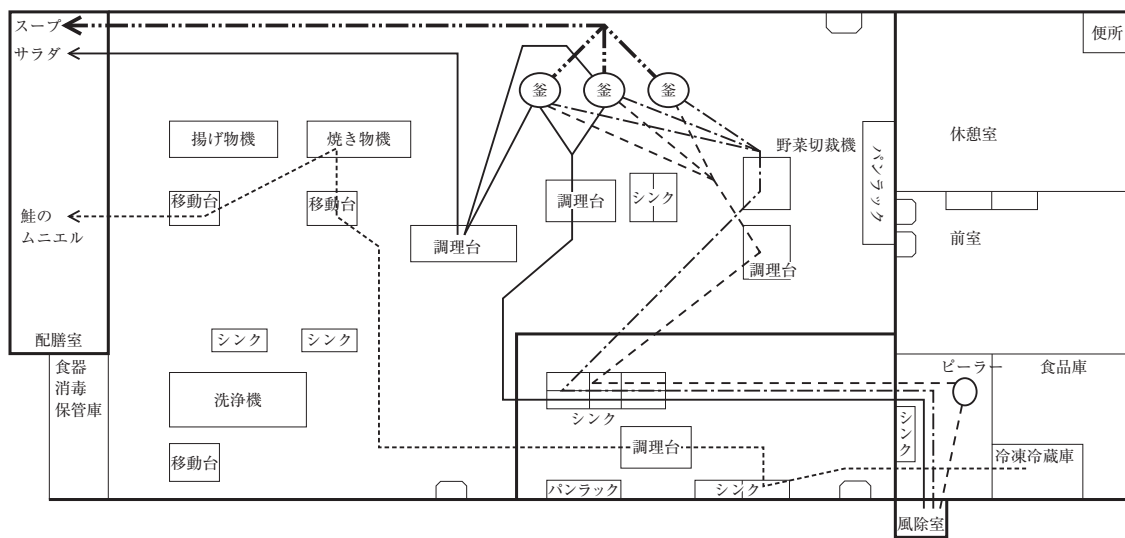
199 作業工程で時間帯をずらして行った方が良い作業の組合せである。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) キャベツの洗浄作業 ————— 鮭の調味作業
- (2) ブロッコリーのゆで作業 ———— キャベツの切裁作業
- (3) サラダの調味作業 ————— 鮭の焼き作業
- (4) スープの配缶作業 ————— サラダの配缶作業

200 ピーラーが故障し、当日の作業工程の変更をしなければならなくなった。予定では、A 班はじゃがいもの下処理と鮭のムニエルを、B 班はサラダを、C 班はスープを担当することになっていた。変更内容として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) A 班のみで、じゃがいもの皮むきを行い、鮭の焼き時間を遅らせる。
- (2) B 班が、ブロッコリーをゆでた後、冷却中にじゃがいもの皮むきを手伝い、その後サラダを仕上げる。
- (3) C 班が、キャベツの洗浄・切裁を終えた後、じゃがいもの皮むきを手伝い、その後スープの加熱と調味を行う。
- (4) A 班、B 班、C 班の全員が、じゃがいもの皮むきを行い、その後それぞれ予定の作業を行う。



- 鮭
- ブロッコリー
- ..... ジャがいも
- · - · - · キャベツ
- スープ(ジャがいもとキャベツ)

図 食品の動線図

